

平成 22 年 11 月 15 日

【照会先】

大臣官房 統計情報部

賃金福祉統計課賃金第一係

課長 木塚 欽也 (内線 7651)

専門官 松戸 珠子 (内線 7652)

(代表電話) 03(5253) 1111

(直通電話) 03(3595) 3147

平成 22 年「賃金構造基本統計調査（初任給）」の結果 ～ 大学卒（男女計）の初任給は、前年比 0.7%減の 197,400 円 ～

厚生労働省では、このほど、平成 22 年「賃金構造基本統計調査(初任給)」の結果を取りまとめましたので、公表します。「賃金構造基本統計調査」は、全国の主要産業に雇用される労働者の賃金の実態を、雇用形態、就業形態、職種、性、年齢、学歴、勤続年数及び経験年数別などに、明らかにすることを目的に実施しています。6 月分の賃金について 7 月に調査を行っています。今回は、新規学卒者の平成 22 年初任給の集計結果です。10 人以上の常用労働者を雇用する民営事業所のうち 62,673 事業所を抽出して調査を行い、46,226 事業所から有効回答を得ました。このうち新規学卒者を採用したのは 13,236 事業所であり、これを集計したものです。

<調査結果のポイント>

1 学歴別にみた初任給

大学卒、高校卒の初任給は、高校卒の女性を除き、前年を下回る。

【P 3・第 1 図、P 4・第 1 表、P 8・付表 1】

大学卒	男女計	197,400 円	(対前年増減率	0.7%減)	
	男性	200,300 円	(同	0.5%減)	(3年ぶりの減少)
	女性	193,500 円	(同	0.7%減)	(5年ぶりの減少)
高校卒	男女計	157,800 円	(同	0.0%)	
	男性	160,700 円	(同	0.1%減)	(5年ぶりの減少)
	女性	153,200 円	(同	0.1%増)	

2 企業規模別にみた初任給

大企業（常用労働者 1,000 人以上）及び中企業（同 100～999 人）では、中企業での高校卒の男女を除き前年を下回り、小企業（同 10～99 人）では、大学卒、高校卒の男女で前年を上回る。

【P 5・第 2 表】

3 産業別にみた初任給

最も初任給が高かった産業は、大学卒の男性では「生活関連サービス業、娯楽業」（224,600 円）、大学卒の女性では「情報通信業」（209,700 円）。高校卒の男女はともに「生活関連サービス業、娯楽業」（男性 170,100 円／女性 165,500 円）。

【P 6・第 3 表】

4 初任給の分布

大学卒の初任給は、男女とも 20 万円台が最も多く（男性 35.3%/女性 28.1%）、高校卒の初任給は、男性では 16 万円台（39.1%）、女性では 15 万円台（27.1%）が最も多い。

【P 7・第 4 表】

調査結果の詳細は、別添資料をご参照ください。